

男女共同参画社会

「当たり前」と「ありがとう」

人権を守り 明るい小松島

「男女共同参画社会って何?」と思ったことはあります。最近よく聞く言葉なのですが、次のお話から、日常の生活を見なおし、男女共同参画社会への第一歩を共に踏み出してみませんか。

料理、洗濯、家事は女のするものやということだが、心の中にしみこんでるんかなあと反省した。せやけど、めんどくさ…いや、めんどうかけてごめんね…(ありがとうございます。)

以前、講演で「当たり前と思う気持ち」の反対は「ありがとうの気持ち」だという話を聞いたことがあります。

前に使える文化を創り上げていくことだとも言えます。

今こそ「ありがとう」の言葉を発信し、周囲もほつと/orしてみませんか。

には、思い込みや固定観念にとらわれ、相手を無視しているかのような状態という意味も含まれているそうです。

富田林ジエンダーエッセイ集
参考
「めざめる女つぶやく男」

ひのみね総合療育センター 関 政明

木犀の花をくるみてポケットに我的歩みに添いて香れり
夕暮れを犬連れ散歩の隣人に挨拶すれば犬も尾を振る

青い空すすきも揺れて散歩する胸いっぱいに秋の気呑みて
風の吹く度ころころと道路にも転がる柿の実にだれも無関心

江田町 深田 伴子
横須町 三宅 敏恵
中田町 倉橋 正則

立江町 森本 幸子
小松島町 川人 豊子
神田瀬町 大西カヲル

夫は右われは左と言いたくも心抑えて今日の円満
立江町 湯浅かや子
《評》今は夫唱婦隨など死語となり、婦唱夫隨が夫婦円満の秘訣など言われる時代になつた。女性が強くなつたのか男性が弱くなつたのか。湯浅さんと同年代の私も、女性が一步引くのが当然の世代を生きてきました。「心抑えて」は昔の女性の忍耐と知恵であり、危機を乗り越える術の一つとして「今日の円満」という結果が得られたのである。せわしさのオーラ放つ介護士らきようも介護の欠けら撒きゆく

から」「男性だから」ということで、相手を無視した「当たり前」という気持ち」や固定観念はありませんか。

男女共同参画社会の実現とは、これらの考え方や思い込みをなくし、相手を思いやり、受け止めて、「ありがとう」の言葉が「当たり前に使えた文化を創り上げていくことだとも言えます。

日常生活の中で「女性だから」「男性だから」ということで、相手を無視した「当たり前」という気持ち」や固定観念はありませんか。

市民文芸 花みずき歌壇 (32) 松並敦子・選

14

人権啓発コーナーNo.99

「たたむわ?」
「たたんだらえんやろ。」
「うなればもう自分でも言葉が出なくなり最後に「たましてもります。」と言葉を言い換えている自分がいた。

「当たり前」という気持ちやねぎらいの言葉は到底出でません。相手を大切に思い、その気持ちを受け止めたときにはじめて、「ありがとう」という言葉が生まれてくるのだというお話をしました。

市人権推進課 (教育庁舎1階)
TEL 32-2122
FAX 33-3525
Mail: iinkensuishin@city.komatsushima.tokushima.jp

携帯のメールに入る言葉にも温かさあり抱きて眠る
立江町 大西 和美